共演者プロフィール

豊谷 紗帆（とよたに・さほ／ソプラノ）
富山県出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業。第23回JILA音楽コンクール第2位（1位無し）、現代音楽特別賞受賞。門脇郁子、串田淑子、佐藤ひさらの各氏に師事。Gruppo Kappaに参加。新作初演に多く携わり、近現代から現代音楽を中心に演奏活動を行う。

向山 周作（むかいやま・しゅうさく／アルトサクソフォン）
宮城県仙台市出身。国立音楽大学を経て同大学院修士課程を最優秀賞を受賞し修了。
大学在学中、日本演奏連盟主催オーケストラ・シリーズのオーディションに合格し、田中祐子指揮・仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。大学卒業時に第87回読売新人演奏会をはじめとする多数の演奏会に推薦される。現在、関東・東北地方を中心にソロ、室内楽、吹奏楽など演奏活動を展開しているほか、吹奏楽講習会講師やコンテスト審査員などをつとめる。

井口 みな美（いぐち・みなみ／ピアノ）
国立音楽大学及び同大学院修士課程器楽専攻伴奏コースを修了。第17回日本演奏家コンクール第1位受賞。
現代音楽演奏コンクール“競楽XIV”ファイナリスト。
近年はソロ活動に加え、アンサンブルピアニストとして室内楽や器楽伴奏等を中心に幅広く活動しており、特にサクソフォンとの共演が多い。また、作曲家の新曲初演などを通して、ピアノの新しいレパートリー開拓にも力を注いでいる。
現代音楽ピアニスト集団「ピアノのアトリエ」所属。

赤松 美紀（あかまつ・みき／ピアノ）
国立音楽大学附属中学・高等学校を経て、国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修（ピアノ）卒業。同時にアンサンブル・ピアノコース修了。ベルリンフィルハーモニーホールにて行われた第九の演奏会でピアニストを務める(ベルリンフィルハーモニーホール開設50周年記念)。2019年銀座ヤマハ主催でリサイタルを開催。ピアノを奥田美穂、石島美奈子、吉田たまき、佐藤俊、長尾洋史の各氏に師事。

～同調会からのお知らせ～

推薦フォーム

「くにたち賞」〔第10回受賞候補者推薦受付中〕

「くにたち賞」は、2017年に本会が創設し、同調会員の中からその活動・実績・功績が顕著である人物（または団体）を会員の推薦に基づき表彰するものです。大賞・奨励賞の2部門があります。
第10回（2027年度）の受賞候補者推薦受付期間：2026年7月20日（月・祝）～2026年11月30日（月）

推薦は郵送とWebサイトにて受け付けております。
詳細は、国立音楽大学同調会Webサイトをご覧ください。
https://dochokai.kunitachi.ac.jp/

アンケートフォーム

アンケートご協力のお願い

Webにてアンケートを実施しております。ホームカミングデイのご感想をぜひお寄せください。
二次元コードまたは下記アドレスよりアクセスをお願いいたします。
https://forms.gle/eGVB8Le2TqWCECgW6

Campus Map

移動の際のご参考に
なさってください！



※公演中の写真、動画の撮影、音声の録音は禁止しております。
　また、途中の休憩はございませんので、お手洗い等はあらかじめお済ませください。
　ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ホームカミングデイ2026

第９回くにたち賞表彰式

受賞者によるトーク＆コンサート

2026年11月2日（月） 講堂小ホール

主催　国立音楽大学同調会

第１部　第９回くにたち賞表彰式

開　式
主催者挨拶
表　　彰
祝　　辞
閉　式

〈大賞〉	越　智　　晃　　氏 横　山　　だいすけ　氏
〈奨励賞〉	金　田　　望　　氏 前　川　　健　生　氏

第２部　受賞者によるトーク＆コンサート

1　金田　望（作曲）／ Sop. 豊谷 紗帆　A. Sax 向山 周作　Pf. 井口 みな美

ソプラノとアルト・サクソフォン、ピアノのための《３つの遊びうた》

Ⅰ. ずいずいメリスマ
Ⅱ. 言葉遊び、もしくはキメラ変奏曲
Ⅲ. アンタ・パッサカリア

2　前川　健生（テノール独唱）／Pf. 赤松 美紀

I. ピッツェッティ／牧人たち
A. ベルク／歌劇《ルル》より 〈アルヴァの讃歌〉
G. ドニゼッティ／歌劇《ランメルモールのルチア》より 〈我が祖先の墓よ〉

3　越智　晃（お話）

別科調律専修で学んだ調律師の矜持
～音の歴史を紡ぎ、未来へつなぐ調律の哲学～

出演者プロフィール

越智　晃（おち・あきら／調律師）

別科調律専修修了。野村賞受賞。松尾楽器商会で技術研鑽した後、スタインウェイ・ジャパン勤務。
ファツィオリ創業者のピアノへの情熱に感銘を受け、2008年ファツィオリジャパン創業時から技術全般の業務に従事。ショパン国際ピアノコンクールなどの調律も担当し、その模様がNHK「もうひとつのショパンコンクール～ピアノ調律師たちの闘い～」で放映され注目を集める他、AERA「現代の肖像」や2023年ニューズウィーク日本版「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれる。一色まこと著「ピアノの森」続編の「もうひとつのピアノの森　整う音」では監修を務めている。

金田　望（かねだ・のぞむ／作曲家）

音の遠近や濃淡といった空間的な知覚をテーマに創作活動を行う。新潟県新潟市生まれ。国立音楽大学音楽学部音楽文化デザイン学科音楽創作専修卒業。同大学院修士課程修了。同大学院博士後期課程単位取得満期修了退学後に同大学院研究生修了。学部卒業時に有馬賞、修士課程修了時に最優秀賞を受賞。武満徹に関する研究で博士号を取得。第10回JFC賞作曲コンクール入選。第1回松村賞受賞。2025年度武満徹作曲賞第1位（審査員：ゲオルク・フリードリヒ・ハース）。
現在、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、桐朋学園大学附属子供のための音楽教室、各非常勤講師。

前川　健生（まえかわ・けんしょう／テノール歌手）

国立音楽大学卒業。東京学芸大学大学院修士課程修了。
東京音楽コンクール第２位、日本音楽コンクール入選、ジュディッタ・パスタ記念熊本復興国際オペラ歌手コンクール第１位。東京二期会オペラ劇場「ばらの騎士」テノール歌手、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ、「ルル」アルヴァ、「タンホイザー」ヴァルター等で出演。ロイヤルオペラハウス提携公演「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥで高い評価を受ける。また遊音楽企画代表として若手音楽家の機会創出、児童養護施設への演奏派遣などに力を注いでいる。2027年新国立劇場「サロメ」ユダヤ人役で出演予定。二期会会員。